

彩湖クリーンアップ
地域に生育する植物を使ったフロートづくり

実施報告書

2024年9月

(公財) 戸田市水と緑の公社

(公財) 埼玉県生態系保護協会

目次

1. 実施概要	1
(1) 実施目的	1
(2) 実施日時	1
(3) 募集対象	1
2. 実施結果	1
(1) 準備	1
1) フロートの試作	1
2) 植栽植物の準備	2
3) 実施計画書の作成	2
(2) 実施	6

1.実施概要

(1) 実施目的

海につながる彩湖（荒川第一調節池）の水と周辺をきれいにする取り組みにより、海なし県の埼玉から豊かで美しい海を未来につなぐための「彩湖を知ろう！体験しよう！楽しもう！日本財団 海と日本プロジェクト 2024」の一環として、地域に生育する植物を使ってフロートをつくるワークショップを通じて、市民に彩湖の働きと魅力を体験してもらうことを目的とする。

(2) 実施日時

2024年9月21日（土）10：00～12：00 （雨天の場合は9月28（土）に延期）

(3) 募集対象

小学生以上の親子 40名

2.実施結果

(1) 準備

1) フロートの試作

ワークショップでの実施を想定し、2種類の植生フロートを試作し、浮力の確認を行った。2種類とも浮力は十分得られたが、ワークショップでの作業内容や、植栽基盤の厚さ等を考慮して、公社と相談の上タイプAを選択した。

より浮力が得られるように、タイプAのパレット内に、小さな発泡マットを入れることにした。

タイプA	タイプB
浮力体：中空パイプ	浮力体：発泡マット・木
	

2) 植栽植物の準備

(公財) 戸田市水と緑の公社の近くを流れるさくら川から、マコモ、クサヨシ、セリを採集・処理を行い、イベント開催日までの約1か月間、公社に育成を依頼した。



さくら川のマコモ、セリの生育状況



採集した植物の処理の状況 (8/27)

3) 実施計画書の作成

イベント実施に向けて実施計画書を作成した。

「彩湖クリーンアップ 地域に生育する植物を使ったフロートづくり」実施計画書

■概要

内 容：地域に生育するマコモを使った植生フロートづくりとゴミ拾い

日 時：9月21日（土）午前10：00～12：00 雨天の場合は、9月28日（土）に延期

場 所：彩湖・道満グリーンパーク内 水辺のステージ付近

対 象：小学生以上の親子

定 員：40名（申し込み13名）

料 金：無料

保 険：協会が一括でイベント保険をかける

■スタッフ（敬称略）

（公財）戸田市水と緑の公社：北田、小嶋、星、町田

（公財）埼玉県生態系保護協会：城戸、須藤、佐々木、馬越

■役割分担（敬称略）

役 割	担 当
総 括	公社（北田）
受 付	公社（星・町田）
司 会	公社（小嶋）
作業説明・実演	城戸・佐々木・馬越
作業補助	城戸・須藤・佐々木・馬越
写真撮影	協会・公社

■進行表

時 刻	担 当	内 容
9：00 (45)	公社・ 協会	水辺のステージに集合 ・あいさつ、手順の確認（公社・協会） ・のぼり旗設置（公社） ・日よけテント、受付準備（公社） ・材料、道具、ふうせん等準備（協会） ・配布物（軍手）準備（公社） ・ごみ拾い用品（トンク・ごみ袋）準備（公社）
9：45 (15)	公社	受付対応 ・参加者の名前を確認し、資料を配布する。 ・軍手（青）を配布する。 ・車での来園者には駐車券配布

時刻	担当	内容
10:00 (5)	公社	あいさつ ・開始の挨拶（北田） ・司会（小嶋）よりスタッフ紹介、スケジュールの説明 趣旨、調節池についての説明
10:05 (15)	協会	フロートについての説明 ・フロートの説明（マコモ、設置の効果など）（須藤） ・グループ4つに分ける グループ（T、O、D、A） ・作成方法について、実演しながら説明（城戸・佐々木・馬越）
10:20 (50)	協会	フロートの作成 ※作成するフロートは4基（1.2m×0.8m）、1フロートに4パレットを設置。 ※フロートのフレームは事前に組み立てておく。 ①パレットにヤシ繊維とマコモを入れて、パレット上下4か所を結束バンドで止める（30分） ②パレットを結束バンドで、フロートのフレームに止めて完成させる。（15分）   植生フロートのイメージ マコモ等の苗
11:10 (5)	協会	記念撮影 ・できたフロートを前において、横断幕を持って記念撮影 ※HP、広報、公式 SNS などで使用させてもらう旨説明し、掲載 NG の人がいれば確認する。
11:15 (15)	協会	水に浮かべる ・フロート同士をひもでつなぎ、各フロートにTADA風船をつけ、その後に湖面に浮かべる ・実証実験として鑑賞池、金魚釣り場などで期間設置する旨説明
11:30 (20)	公社	ごみ拾い（ワンハンドクリーン） ・ゴミ袋（小）、トングを配布して、周辺のゴミ拾い
11:50 (5)	公社	閉会あいさつ 参加賞配布 ・参加賞を配流する。（エコバッグ・アイスキャンデー）
11:55	全員	解散 後片付け

■準備物

品目	数量	備考	担当
参加者名簿			公社
参加者用駐車券	20枚		公社
のぼり旗(公社)	3本		公社
海と日本プロジェクト横断幕	1枚		公社
マコモ苗	80株	20パレット×4株	公社
野外用マイク	2台		公社・生態系
フロート用フレーム	5基	組み立て済み	生態系
パレット上下セット	20セット		生態系
パレットセット用スチロール	20枚	事前にセット	生態系
結束バンド小(パレット上下用)			生態系
結束バンド大(フレーム用)			生態系
植栽基盤(ヤシ繊維)	20パレット分		生態系
ナイロンひも	8本	フロート結束用	生態系
ナイロンひも	4本	風船用	生態系
はさみ	13本		公社
カッター大	1本	予備	生態系
カメラ	1		生態系
救急セット	1		生態系
資料(彩湖説明+浄化説明)	20枚		生態系
エコバックイベントちらし	20枚		生態系
TODA風船	各1個		生態系
風船用空気入れ	1		公社
参加賞(エコバッグ)	50個		公社
参加賞(アイスクャンデー)	40本	ごみ拾い中に準備	公社
ごみ袋(小)	40枚		公社
ごみ袋(大)海ごみゼロ	5枚		公社
トンク	40本		公社
海ごみゼロ2024 9/28 チラシ	40枚		公社
日よけテント(受付用)	2つ		公社
テーブル	2つ		公社
ブルーシート	3枚		生態系
脚立		撮影用	公社

(2) 実施

実施計画書に基づきイベントを実施した。参加者は、12名であった。
最終的に5基のフロートを作成し、実証実験として釣り場に2基、観賞池に3基を設定した。
以下に実施状況を写真で示す。



あいさつ・スケジュールの説明



植物解説



植栽基盤の作成



植物の植え付け



パレットのフロートへの取り付け



完成品を前に記念撮影



彩湖にフロートを浮かべる



記念撮影



実証実験（観賞池）



実証実験（釣り堀）